

2001年6月18日発行

題字 杉野 雅子

## SG後援会「かたつむり21」が発足しました

さる4月21日、大阪肢体不自由児サービスグループ（SG）創立35周年記念パーティの会場で、SGの活動を支援するSG後援会「かたつむり21」の設立総会が開かれ、参加者全員の総意をもって設立が確認されました。

この会は、SG活動の継続とさらなる発展を願う者により構成され、現役グループ員が肢体不自由児とともに歩む活動に全力を注ぐことができるよう、後方支援部隊となるものです。既に、50名以上の方から会員登録の意向を頂いています。当面の活動として、SGメンバーが自由にミーティング等に使える事務局を平成14年春に設置すべく準備を進めています。事務局が本格的に稼働すれば、「かたつむり21」の会員は少なくとも100名程度が必要となります。皆さん方のお知り合いにも参加をお願いします。会員登録をお願いします

SG後援会「かたつむり21」の会員名簿を作成し、皆さまにお送り致します。会員相互の連絡やネットワークづくりに活用して頂きたいと考えています。つきましては、名簿の正確さを高めるため、会員登録をお願いします。同封の登録用はがきを6月30日までにご返送下さい。

## かたつむり21の発足にあたって

資金もなく行政やいずれの組織にも依存しない純民間のボランティア団体が、35年にわたって活動を続けていることは驚異的なことです。これを支えてきたのが、その時々々の現役メンバー、特に、グループの運営をつかさどる委員会メンバーの自己犠牲とも言える働きです。キャンプが好きだから。子どもが好きだから。それぞれ色々な背景があるでしょうが、グループにかける情熱を持つ人の連続性が鍵です。

しかし今やSGを取巻く環境は大きく変わりがつあります。これまで共同歩調をとってきた「育てる会」は一時休会になり、SGの事務局を置いていた「吹田療育園」も移転とともに独自の道を歩み始めました。私たちも、かつてSG活動とともに汗を流したメンバーの一員でした。時期や期間の長短、さらには関わり度合い等は、一人ひとり異なりますが、活動を通して数多くものを学んだことは共通です。35周年を機にSG後援会「かたつむり21」を結成し、現役メンバーの強力なサポーターとなることにより、今後とも、OB・OGとしての自覚と誇りを持って「障害者とともに生きる社会づくり」への熱き思い  
SG後援会「かたつむり21」会長 黒川 芳朝

『かたつむり21』会員の皆様へ

**会費納入のお願いです！**

SGおよび『かたつむり21』独自の活動を会費によって支えていただく為この広報に同封いたしました振り込み用紙にて、半期分6,000円または1年分12,000円を納入下さいようお願い申し上げます。既にお振込み頂いています方には同封しておりません。尚、いれちがいにお振込み頂いた方は失礼をお許し下さい。また、同封の会員登録はがきは全員の方にご返送をお願い申し上げます。



## SG創立35周年記念フォーラム

雨天ついて二百余名参加

松木 彰造

去る4月21日(土)大阪市西区の子供文化センターにおいてSG創立35周年記念フォーラムが行われた。

当日はあいにくの雨模様で出足は鈍かったものの、それでも二百名余りの参加があった。お世話になった方々への感謝状贈呈に引き続き、清水哲さんの記念講演「生きる勇気をありがとう」やSGの過去・現在をスライドで紹介し、今後を模索したビジュアルセッションやさらに女性グループ「ミュゼット」によるクラシック演奏をたっぷり楽しんだ。

スライドによるSGの紹介では、スクリーンに大きく映し出された懐かしい写真を見て、笑いあり感動あり、目頭を押さえる人もいた。



また、SG後援会「かたつむり21」の設立総会を兼ねた記念パーティーには90名余りの参加があり、巳波さんや工藤さんの名司会の下、和やかな雰囲気の中で進められた。まさにSG後援会「かたつむ

り21」の門出にふさわしいパーティーだった。

ぶっつけ本番、新米実行委員長は不安いっぱいでも迎えた当日でしたが、皆様の協力のお陰でそれも杞憂に終わり印象深いフォーラムができたことをお礼申し上げます。

今後とも末永く「SG」・「SG後援会『かたつむり21』」へのご協力をお願い申し上げます。



SG創立35周年によせて

山田 貞雄

35周年記念式典に被表彰者としてお招きを頂きありがとうございました。当日は久しぶりに皆様方の顔を見て、なつかしさがこみあげてきました。しかしながら、「肢体不自由児を育てる会」や「吹田療育園」の名前が無いのは当然とはいえ寂しい気持ちも片一方でありました。

このような感情を持ちながらも、今後のSGに期待することがありますので以下に記します。小生がグループに期待をしているのは、グループの特性を利用した活動です。メンバーの多くは社会人でし

かも責任あるポストにつき活躍なさっています、その地位や立場を活かした活動を肢体不自由児・者のために使うことができますか？ ご承知のように地道に活動を行っている親の会、民間の団体あるいは個人の活動家たちに「現在もっとも困っているのは何か？」と尋ねるとおそらく「運営に必要なお金」とそこに働く「人材が不足している」ということでしょう。これらの悩みに対してどのように私たちが支援をすればよいか。

と考えるとできるだけ沢山の協力者がいて、経済的支援やマンパワーの供給ができることとなってきます。それには協力して下さる企業や個人の篤志家達を集めることです。ところが現場の人たちはそのような企業や人には無縁の人達ばかりです。そこでもし、グループの持っているコネクションでそれらの企業や人々の協力を得ることができれば、どれだけ勇気づけられる計り知れません。

グループが今まで行ってきた活動に加えて「各種団体の支援活動」として新しい活動を起こされれば、一層関係者に喜ばれるのではないのでしょうか。

今後も尚一層のご発展をお祈りしています。



### 苗村 英男

懐かしい時間有り難うございました。舞台上動くグループの方々、受付、会場整理、皆さん白い髪にちょっと薄くなった頭、ボランティアの集まり？ いやそれはサービスグループでした。

35年がタイムマシンでそこに現れたように、よみがえっていました。皆様方のお力に感謝しております。頭の中はその当時のままなのですが、見かけはこちらもおじさんになってしまったので、昔のように話しかけることができませんでした。残念です。

妹尾さんの歌声に、目頭が熱くなり、その存在の重みと無くした損失を残念に思います。またお会いするのを楽しみにしております。



## サービスグループからのご案内

6月10日に行われたSG総会で  
以下の内容が決定しました。

### ① 今年のキャンプ日程

8月14日(火)～16日(木)2泊3日

場所: びわこ青少年の家

内容: 中高生対象

キャンパー20名程度

リーダー40名



### ② 2001年度 委員会メンバー

委員長 中間、 副委員長 梅本・下鶴、 書記 山名リサ

会計 片山、 会計監査 松井

キャンプ実行委員会

実行委員長 種子島、 キャンプ会計 山名リサ、 委員 矢代・岩藤

ということで、今年もキャンプの季節がやってきました。

### ③ キャンプリーダー募集 ぜひ、あなたも参加してください。また、あなたの近くにいらっしゃる若者にも奨めてあげてください

6月24日(日) SG/キャンプリーダーのオリエンテーション

森之宮 青少年会館 AM10:00から午前中

7月15日(日) キャンプ全体ミーティング 同じ場所で AM9:00から

7月28～29(土・日) トレーニングキャンプ 場所 未定

キャンプソング・ゲーム・介助法講習など

8月5日(日) キャンプ最終ミーティング 場所 未定



## 編集後記

SG創立35周年記念フォーラムには200名以上の参加者を得て無事終了しました。

フォーラムから早くも1ヶ月以上が過ぎようとしていますが、やっと記念すべき「かたつむり21」の広報誌第一号を発行することができました。今後、「かたつむり21」の目標達成のため、この広報誌の発行を定期的に行う予定です。内容としては「かたつむり21」の事業計画進捗状況の報告、その他活動報告を掲載すると同時にSGの活動報告を中心に掲載します。

また、いろいろな特集も組み、会員の皆様と共にこの広報誌の内容をますます充実させていきたいと思っておりますのでご意見、ご感想があればどんどん事務局までお寄せ下さい。よろしく願いいたします。